

◆プログラム◆

開会の辞 本郷 一博

9:00

一般演題 I ■「機能評価」

9:04-9:59

座長：石川 和夫（秋田大学 耳鼻咽喉科）

座長：高橋 姿（新潟大学 耳鼻咽喉科）

1. 「手術後に聴力が改善した聴神経腫瘍の特徴・第2報－聴機能における外有毛細胞の役割は？－」
河野 道宏（東京医科大学 脳神経外科、東京警察病院 脳神経外科）
2. 「経耳的聴神経腫瘍摘出術と人工内耳手術を同時に施行した1例」
土井 勝美（近畿大学医学部 耳鼻咽喉科）
3. 「聴神経腫瘍症例における Gaze-Evoked Tinnitus」
木原 一徳（千葉中央メディカルセンター 脳神経外科）
4. 「聴神経腫瘍症例における術前前庭機能評価と術後離床期間、めまい症状の検討」
大島 伸介（新潟大学医学部 耳鼻咽喉科）
5. 「聴神経腫瘍患者の歩行動態の変化について」
石川 和夫（秋田大学大学院 耳鼻咽喉科頭頸部外科）

指定演題 I ■「機能温存に関する手術手技の工夫 (1)」

9:59-10:54

座長：山上 岩男（千葉中央メディカルセンター 脳神経外科）

座長：小川 郁（慶應義塾大学 耳鼻咽喉科）

6. 「顔面運動誘発電位モニタリング下の聴神経腫瘍摘出術」
福多 真史（新潟大学脳研究所 脳神経外科）
7. 「顔面神経に対する術中電気生理学的検査が摘出率に与える影響」
後藤 哲哉（信州大学医学部 脳神経外科）
8. 「神経機能を“見える化”する術中モニタリングを用いた聴神経腫瘍の手術科学」
中富 浩文（東京大学 脳神経外科）

9. 「聴神経腫瘍患者における Blink Reflex と術後顔面神経機能の相関」

平石 哲也 (新潟大学脳研究所 脳神経外科)

10. 「頸静脈孔神経鞘腫の手術における持続迷走神経モニタリング」

河野 道宏 (東京医科大学 脳神経外科、東京警察病院 脳神経外科)

指定演題 I ■ 「機能温存に関する手術手技の工夫 (2)」

10:54-12:11

座長：佐々木富男 (九州大学 脳神経外科)

座長：斉藤 延人 (東京大学 脳神経外科)

11. 「Retrosigmoid approach による聴神経腫瘍摘出術での整容に関する工夫」

楚良 繁雄 (東京警察病院 脳神経外科・脳卒中センター)

12. 「聴神経腫瘍摘出時の錐体裂開放の有用性」

後藤 剛夫 (大阪市立大学 脳神経外科)

13. 「後頭蓋窩の解剖学的バリエーション 狭小な後頭蓋窩が手術の難易度に影響する因子についての検討」

吉田耕一郎 (藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院 脳神経外科)

14. 「聴神経腫瘍手術における剥離器具と術野吸引チューブの開発」

甲村 英二 (神戸大学 脳神経外科)

15. 「経中頭蓋窩法における顔面神経、聴力保存の工夫」

村上 信五 (名古屋市立大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

16. 「小型聴神経腫瘍に対する selective neurinectomy の試みー聴力温存を超えてー」

関 要次郎 (東京共済病院 脳神経外科)

17. 「小さな聴神経鞘腫の摘出術における聴力温存のための手術手技」

山上 岩男 (千葉中央メディカルセンター 脳神経外科)

<昼食・世話人会> 12:15-13:20

<事務連絡> 13:20-13:30

【教育講演】座長：橋本 省（仙台医療センター 耳鼻咽喉科） 「聴神経腫瘍の手術 私の考えるところ」 慶應義塾大学 脳神経外科 大平 貴之	13:30-14:10
--	--------------------

指定演題II ■「思わぬ合併症および対処の方法」 **14:10-15:05**

座長：大畑 建治（大阪市立大学 脳神経外科）

座長：長谷川光広（藤田保健衛生大学 脳神経外科）

18. 「聴神経腫瘍術中に急性脳腫脹を生じた1例」

田中雄一郎（聖マリアンナ医科大学 脳神経外科）

19. 「外側後頭下開頭時の静脈洞損傷と修復」

小林 辰也（信州大学医学部 脳神経外科）

20. 「脳室ドレナージ操作により術後テント上硬膜外血腫を合併した巨大聴神経腫瘍の一手術例」

鮫島 哲朗（NTT 東日本関東病院 脳神経外科）

21. 「術後にテント上の急性硬膜外血腫を来した巨大聴神経腫瘍の一例」

高尾 哲郎（新潟大学脳研究所 脳神経外科）

22. 「ETV 術後に両側視力障害悪化を呈した聴神経腫瘍の一例」

柴尾 俊輔（慶應義塾大学医学部 脳神経外科）

一般演題II ■「ガンマナイフ・NF2」 **15:05-16:11**

座長：国枝 悦夫（東海大学 放射線治療学）

座長：百島 祐貴（慶應義塾大学 放射線診断科）

23. 「Long-Term Follow-Up Results of Stereotactic Radiosurgery (SRS) for Vestibular Schwannomas (VSs): A Study of 131 Patients Treated Before 2002」

渡邊 真哉（勝田病院 水戸ガンマハウス）

24. 「ガンマナイフ治療後腫瘍コントロールが良好であった聴神経腫瘍の病理像」

樋口 佳則（千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学）

25. 「聴神経腫瘍の術後残存病変におけるガンマナイフ治療後の腫瘍体積変化」
永野 修 (千葉県循環器病センター ガンマナイフ治療部)
26. 「聴神経腫瘍に対するガンマナイフ Model B, C, Perfexion における治療計画の差～第二報～」
芹澤 徹 (築地神経科クリニック 東京ガンマユニットセンター)
27. 「神経線維腫症 2 型に伴う聴神経腫瘍に対するガンマナイフの治療成績」
岩井 謙育 (大阪市立総合医療センター 脳神経外科)
28. 「神経線維腫症 II 型症例の長期聴力経過に関する検討」
大石 直樹 (慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科)

閉会の辞 本郷 一博

16:11-16:15